

本紙は、毎号テーマに沿った本を選んで、あらすじや読後感などを紹介しています。
今回は、「生き方」にスポット。久々に、自分流生き方改革で輝く方の取材記事を掲載しました。



編集委員おススメ 図書



『家族で地方移住、はじめました。』

～働き方・生き方をかえた、
いまどきの子育て世代の選択～

移住ライフ研究会 編 洋泉社
(2016.9) 318.6/イ



子育て世代家族の地方移住の様々な例を掲載した一冊。家族で移住を決心することは簡単ではない。住宅等の社会的援助があるとはいえ、経済的にはやはり問題点もあるようだ。一方で、近年のITの発達で過去のキャリアが活かされるといった事例もある。取り上げられた家族が総じて口にするのは、通勤時間が短くなったことで、家族との時間を十分に取れるようになったり、自然との触れ合いで満たされているという精神面での充足感。ゆったりとした時間の流れは、行間からも読み取れ、清々しい読後感に満たされる。(はっしー)

『生き方' 元気になるには』

～人間通になるために～

坂東眞理子 著 日本実業出版社
(2008.9) 158 円

本書は次の3つの章からなる。「第1章：人は何度でもチャレンジできる」「第2章：自分の磨き方、活かし方」「第3章：より良く生きるためのエネルギーを養う」

著者は『品格』を失わずに人や仕事と向き合い、与えられたチャンスを活かして自分を高め、前向きに元気に生きていくための自身の考えや実践を具体的に述べている。中でも得心のいかない職場の古い慣習との折り合いのつけ方、気持ちの切り替え方などにみられる彼女の「芯のある柔軟さ」を見事だと感じた。仕事も含め、より良い人生・自分らしくしなやかに生きるために、とても役立つアドバイスが満載。素敵な人生の先輩に勇気づけられる、そんな一冊である。(まゆ)



特別取材『いきいきと輝き、「夢」実現』

パティスリー・ブチリュクス^{※1} 大田市長久町

店主 パティシエ 大野 鮎美^{おおの あゆみ}さん



幼い頃から手作りのお菓子を喜んでもらうのが嬉しくて、パティシエになる夢を実現。結婚、島根への移住を機に、家庭との両立に悩むも、夫の「手に職を持っているのにもったいない。」という理解、後押しもあり、5年前に開店した。

客との会話を楽しみ、気さくな人柄で、「お客様の喜ぶ顔が夢を繋ぐ原動力」と語る彼女は、素敵な生き方でできりと充実感がほとばしる。

性別に関わりなく、輝いて生きる秘訣は、家族の支え合いや仕事への意欲を保ち続けることとインタビューを通じて実感した。

昨年は、イオン店内と姉妹店「ばえる^{※2}」を出店、ますます意欲的に活躍の場を広げている彼女の今後の活躍から目が離せない。

(白クマ)

※1 ブチリュクス：小さくてちょっとゴージャスの意

※2 ばえる：お子さんが「食べる」のことを「ばえる」と発音したことから

情報ライブラリー利用案内

■利用時間 9:00~19:00

※日曜日は図書整理のため18:00まで

■休館日 月曜日、祝日、年末年始、図書整理日(月末)

■貸出数 図書5冊(2週間)

ビデオ・DVD1本(1週間)

郵送での貸出、返却も行っています

★パッケージ貸出のご案内★

利用目的に合わせて図書やDVDをまとめて貸し出すサービスを行っています。(～30冊程度)

■利用者登録(団体)が必要

■貸出期間は1ヶ月



男女共同参画の啓発・学習などの際にご活用ください!



新着図書



タイトル	内容
女に生まれてモヤってる！ ジェーン・スー 中野信子/著 小学館 (2019.7)	軽快に読める対談集。「女性らしさ」という周囲の期待や固定観念にもがき悩んでいる女性たちへ、「自分らしく」生きていこうと応援してくれる1冊。対談のあちらこちらに散りばめられている2人の『名言』に、心の内にあるモヤモヤがスッキリするはず。
平安ガールフレンズ 酒井順子/著 KADOKAWA (2019.5)	清少納言、紫式部、和泉式部らの平安を代表する作品を読み解きながら、彼女たちの性格を分析。仕事・恋愛・結婚など、時を超えて平安女性の悩みに共感し、古典の世界へといざなう。
ぼそぼそ声のフェミニズム 栗田隆子/著 作品社 (2019.5)	心惹かれるタイトルである。声高らかにフェミニストを名乗るわけではないが、日常のなかで感じる不平等や違和感をつぶやく著者。どんな立場であろうと、今の社会の納得できないことは、「わからない」とつぶやいてもいいんだよと、背中をおしてくれる本。
よかれと思ってやったのに：男たちの「失敗学」入門 清田隆之/著 晶文社 (2019.7)	家庭や学校、職場などで「どうして男は…」とモヤモヤしている女性たち、その不満や疑問、あなただけではありません！本書に出てくるのは、“クセの強い”男性たち…ではなく、どこにでもいる男性たち。彼らの問題点や対策についてわかりやすく解説した本書は、まさに女性と男性の“すれ違い”を暴いた衝撃の1冊。
男子が10代のうちに考えておきたいこと 田中俊之/著 岩波書店 (2019.7)	性別によって求められる役割や進路選択、期待のされ方が違う日本。本書は、若者に向けて性別役割分業についてわかりやすく解説するとともに、従来の「男らしさ」を見つめ直し、これからの生き方を提言する。
虐待死：なぜ起きるのか、どう防ぐか 川崎二三彦/著 岩波書店 (2019.7)	児童虐待防止法が施行されて20年が経った現代でも、虐待で命を落とす子どもは後を絶たない。虐待死を防ぐためには、何が必要か？長年、児童相談所で虐待問題に取り組んできた著者は言う。「虐待死を克服するのは決して不可能ではない。」
わたしも、昔は子どもでした。 「子どものしあわせ」編集部/編 かもがわ出版 (2019.8)	「ものいう」大人たちが自身の幼少期を振り返り、子どもに本当に必要なことは何かを語る。子育て、孫育て中のすべての人々に贈る、あたたかな応援メッセージ。
歴史を変えた50人の女性アスリートたち レイチェル・イグノトフスキー/著 創元社 (2019.8)	圧倒的な能力と粘り強さで記録と歴史をぬりかえてきた50人の女性アスリートたち。1人ずつ左右見開きで、チャーミングなイラストと読みやすくまとめた紹介文。途方もない困難に立ち向かい、記録と歴史をぬりかえてきた女性たちのエネルギーに満ちた姿は、世界中の女性たちに勇気を与えてくれる。



◆ホームページでも新着やテーマ別の図書・DVD等を紹介しています◆

あすてらす 映画上映会 子ども映画まつり

入場無料
申込不要

3月21日(土) 14:00~ (64分)

世界名作アニメ「ダンボ」(アメリカ ベン・シャープスティーン監督/1941年) 友情や愛情に支えられながら、ありのままの自分を信じて大空を舞うダンボのひたむきな姿を描いたハートウォーミング・ストーリー。心に残る素晴らしい音楽と共に、子供に伝えたいことがぎっしり詰まった名作です。

(日時・内容は都合により変更になる場合があります)。

映画上映会では、女性の生き方、家族とのかかわり方など、女性に関わる問題をテーマとする映画をお楽しみいただけます。

■お問い合わせ先■

島根県立男女共同参画センター「あすてらす」情報ライブラリー
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 236-4
Tel 0854-84-5557 Fax 0854-84-5589
ホームページ <http://www.asuterasu-shimane.or.jp>

★★ 編集後記 ★★

オリンピックイヤーの幕開け、テレビなど連日、盛り上げようと宣伝するけど、小生どこか遠い国のお話のようでピンと来ない面も。生き生きと輝く選手たちは素晴らしい、結果に拘らず努力の課程を応援します。頑張れ選手たち！！ (ずらだ)